

開講科目名 / Course	応用生体機能反応論	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	濱中 良志	
担当教員名 / Instructor	吉田 成一、濱中 良志	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	1年次に学んだ生体の構造・機能・代謝の知識を実際の医療看護分野で利用するための応用力、実践力を養う。臨床薬理ではいくつかの症例を取り上げて、臨床で用いる医薬品の特徴や選択法などについて学ぶ。	
到達目標	1. 医療看護分野で必要な病態を解剖学・生理学に基づいて説明できる。 2. 臨床で用いる医薬品の特徴や選択法について説明できる。	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	01. 血液系疾患病態生理 02. 呼吸器系疾患病態生理 03. 循環器系疾患病態生理 04. 神経系疾患病態生理 05. 内分泌・腎臓疾患の病態生理 06. B型肝炎の歴史 07. B型肝炎の教訓 08. 高血圧治療薬 09. 糖尿病治療薬 10. 抗菌薬	
その他の授業の工夫	動画で予習した内容に関して、対話式質疑応答を行う。	
時間外学修	事前学修：動画をみてポイントを予習する（10h）。 事後学修：講義内容の復習を行い、理解できない場合は、担当教員に質問し解決する（10h）。	
評価方法と評価割合	レポート100%	
テキスト	なし	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	濱中良志：臨床医（外来と当直業務）
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	講義や事例の議論の際に、臨床経験を話すことにより、解剖学の知識が臨床の現場で生かされることを強調して、学生のモチベーションを上げる。	